

## 「かわいい来訪者」

2月下旬、校長室にとってもかわいい来訪者がやってきました。小学部1年生の児童です。

きっかけは、毎朝事務室へ挨拶に来てくれるその子を「校長室も見えていかない？」と誘ったことでした。校長室にあるオレンジ色の椅子など、興味をそそる品があったようで、ニコニコしながら探索が始まりました。

校長室の円卓には、鮮やかなオレンジ色の椅子があります。ゆったりとした座り心地が良く、実は私のお気に入りでもあります。するとその子は、円卓から少し離れていて使っていない椅子と、私が校長の机の場所で使っている椅子に気づき、「場所が違うよ」と教えるように、元の円卓のある場所へ戻してほしいというサインを送ってくれました。

私は、その子の気持ちに寄り添った対応をしようと心に決め、椅子を通したコミュニケーションを楽しみました。

その後、休み時間にはクラスの友達も一緒に校長室へ来てくれました。2人の児童は円卓の中に入り、内側にある台を使って遊び始めました。私も「どんな楽しいやりとりができるかな」と考えながら輪に加わり、台を動かしてスペースを調整しながら、一緒に遊びました。2人はニコニコと声を弾ませ、私のいる場所を狭くしてみせるなど、お茶目な反応を返してくれます。

楽しい時間はあっという間ですが、次の学習の時間が近づいてきました。どうすればスムーズに気持ちを切り替え、教室に戻れるか――。そこで、担任の先生と連携し、ある「作戦」を立てました。

まず円卓を少し動かして出口を作り、2人を外へ誘導します。2人が出たところで円卓を元に戻し、あえて私一人が円卓の中に残る形にしました。そして、「校長先生、出られなくなっちゃった！バイバイ！」と、遊びの延長で別れを演出してみたのです。

実際に行ってみると、2人はスムーズに円卓から出て、教室へと戻っていくことができました。

子どもたちとのふれあいを通じて、私自身が多くのことを学ばせてもらう、とても貴重で温かなひとときとなりました。

